

施策番号	0204		
施策名	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進		
概要	市民それぞれが各人の置かれた状況に応じて、家庭や地域生活などにおいても、多様で柔軟な働き方・生き方が選択でき、仕事の充実と地域参加や社会貢献などの仕事以外の生活が好循環する社会の実現を目指す。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	2 人権・男女共同参画		
施策に関する主な分野別計画等	第4次京都市男女共同参画計画（きょうと男女共同参画推進プラン）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト	
1 ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点（130点）以上の企業の数(社)	a	a	114	154	84	183.3%	a	1.00	
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 女性も男性も、仕事と生活（家庭や地域活動など）をバランスよく充実できる社会になってきている。	17	103	221	147	54	542	c	
	3.1%	19.0%	40.8%	27.1%	10.0%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							c	

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) ワーク・ライフ・バランスの内容は個人のライフスタイル、価値観によって異なるため、市民がどのように感じているのかわかる市民生活実感調査の結果を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】企業対象セミナーでの制度周知、推進企業支援補助金制度の活用や、男女共同参画推進アドバイザーの派遣等、府市協調で企業への支援や啓発活動に取り組んでいることから、3年連続a評価と高い評価で安定している。 【市民の実感】子育て期である30歳代、40歳代の週労働時間60時間以上の男性の割合は他の年代に比べ高い水準となっており、夫の家事・育児関連に関わる時間は、1日当たり1時間程度と他の先進国と比較しても低水準であること、女性の出産前後の継続就業の割合は増えておらず、女性の就業継続をめぐる状況は依然として厳しいこと(以上、男女共同参画白書)、男女ともに仕事と生活(家庭や地域活動など)をとともに優先したいと思う割合は多いものの、その実践ができていない割合は少ないこと(男女共同参画に関する世論調査)が分かっており、いまだワーク・ライフ・バランスの考え方が広く浸透しているとは言えないため、昨年度に引き続きc評価となっているものと考えます。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		26年度 決算額	27年度 予算額		
1	きょうと男女共同参画推進プランの推進	18,372	17,943	かなり良い	文化市民局
2	「真のワーク・ライフ・バランス」推進事業	33,999	40,023	普通	文化市民局
3	京都市男女共同参画センター ウィングス京都	194,948	190,903	—	文化市民局
4	ウィングス京都開館20周年記念事業	2,125	—	—	文化市民局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- 平成24年度に創設した「真のワーク・ライフ・バランス」推進企業支援補助金制度に基づき、育児・介護と仕事の両立支援、長時間労働の解消や年次有給休暇取得の促進等、働き方の見直しに取り組む中小企業を支援していく。
- 「真のワーク・ライフ・バランス」の考え方の浸透に向け、今後も引き続き、「真のワーク・ライフ・バランス」の推進に積極的に取り組む市民の活動を広く社会に情報発信を行うとともに、誰もが仕事や家庭生活、社会貢献などにおいて、生きがいと充実感を得て心豊かな人生を送れるためのまちの実現を目指した取組を推進する。

施策名	0204	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
-----	------	---------------------------

指標名	ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点（130点）以上の企業の数(社)
-----	---------------------------------------

担当課	男女共同参画推進課	連絡先	222-3091
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業数

2 指標の意味

企業における仕事と子育て両立支援の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度の宣言企業のうち、認証企業として認定されている京都市内の企業の数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	114	154	40社増	84	中長期目標を達成するため平成32年度までに16社/年の増(160社増)を達成させる。	183.3%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		180社	32年度	85.5%	市内に事業所のある宣言企業を平成32年度までに800社とし、そのうち約2割を本指標に掲げた認証企業として22年度時点の企業数(約20社)から増やすことを目指す。

備考	
----	--

5 評価基準

前年度と比較し、年間の認証企業増加数が
 a：16社以上
 b：10社以上15社未満
 c：5社以上10社未満
 d：1社以上5社未満
 e：増加なし

6 基準説明

目標値である16社/年増を達成した場合をaとし、以下、
 bを10社以上15社未満
 cを5社以上10社未満
 dを1以上5社未満
 eを増加なしとする。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a